
この素晴らしい世界に祝福を!
作画 渡真仁
原作 暁なつめ
三嶋くろね
5
KONO SUBARASHII SEKAI NI SYUKUFUKU WO!
DRAGON COMICS AGE


この素晴らしい世界に祝福を！
5
KONO SUBARASHII SEKAI NI SYUKUFUKU WO!
作画 渡真仁
原作 暁なつめ
キャラクター原案 三嶋くろね
DRAGON COMICS AGE



KONO SUBARASHII SEKAI NI SYUKUFUKU WO!

CONTENTS

DESIGN : YUKO MUCADEYA & CAIKO MONMA
(MUSICAGOGRAPHICS)


この素晴らしい世界に祝福を！
5
作画 渡真仁
原作 暁なつめ
キャラクター原案 三嶋くろね


5
KONO
SUBARASHII
SEKAI NI
SYUKUFUKU
WO!



しかし…
うわ…
ねちょっ

誰だか知らないけど助かったよありがとう！
あ…

第二十五章 この紅魔の娘に友人を！①


あせっ
い…いえ
助けた訳じゃないですから
だって…
ラ…ライバルがカエルなんかにやられたりしたら私の立場がないし…
ん？
ライバル？
なになに？あなためぐみんの知り合い？
いえ…あの
知り合い…と言いますか…


すうっ…
久しぶりね めぐみん！
約束通り決着をつけるため修行してきたわ さあ勝負よ！


……
どちら様でしょう？
ええっ!?


わ…私よ 私っ！ 紅魔の里の学園で同期だった… めぐみんが一番で私が二番で…
は？


おい…今
大変な事を
さらっと…
お前が学園で
一番て…
…
今更何を
初めて出会った時に
名乗ったはず
我は紅魔随一の
使い手だと！

……今の粘液
まみれのお前を見て
そう信じる奴の
顔が見たい
な
なにおう！
ちょ
ちょっと
待ちなさいよ！
うわっ

ねえ めぐみん
本当に私のコト
忘れちゃったの!?
ホラ！
テストでも何でも
あなたに勝負を
挑んだら対価が
必要とか言って
弁当を賭けるなら
受けて立つとか言って
よく私のお弁当
巻き上げてた
じゃない！
お前
そんなコトを


ねえねえ
どうでもいいけど
長引きそうなら
私 カエルを換金
するからギルドに
行ってきていい？
ヴァーン
…何やら
積もる話も
ありそうですね
どうぞも…


今日は
自分もこれで
失礼しますが……
サトウ
カズマさん
私はまだ
あなたを信用しては
いませんから
そのつもりで
ぬう…


で
この子はお前の知り合いって言ってるけど…どうなんだ?
知りませんよ
大体名前も名乗らないなんておかしいじゃないですか
きっとこれは以前カズマが言ってたお金を騙しとるオレオレ何とかです
関わってはいけません
いきましょう
ちょっと待って!待ってよ!
ああもうっわかったわよ!
知らない人の前で恥ずかしいけど…

我が名はゆんゆん！
アークウィザードにして上級魔法を操る者！




…とまあ
彼女はゆんゆん
紅魔族の
族長の娘で
私の自称
ライバルです
ほう
かぁあっ
ちょっと！
ちゃんと覚えてる
じゃないいっ
なるほど
俺はこいつの
冒険仲間のカズマです
よろしく！
ゆんゆん
はい…
って…
あれ？
私の名前
聞いても
笑わないいん
ですか？

いやいや
名前がちょっと
変わってるくらい
本人とは
関係ないし
ウム
世の中には変な
名前持ってても
「頭のおかしい爆裂娘」って
通り名で呼ばれる奴も
いるんだ
おい
それって
私の事か
な…なるほど
良い仲間を
見つけたわね
めぐみん！
ところで
話するなら
場所変えないか？
さむいし
はっ！


そうよっ！こんな話しに来たんじゃないわ！
私はあなたと決着をつけに来たのよ！


私はいずれ紅魔族の長になる者…あなたに勝つまではその椅子には座らないわっ
そのために上級魔法も習得してきたのよっさあ勝負なさい！
嫌ですよ体も冷えてきたし
じゃ帰るか風呂入ってから飯食いに行こうぜ
だから何でそうなるのよ！勝負してよーっ！
ずるるる…


侮られたものですね…この私相手に魔法で勝負する気ですか？
今も愚かなカエルを一撃で8匹も蒸発させた我が力…ゆんゆんはそんな事できるとでも？
えっ…
聞いた事があるでしょう？この私の魔法に脅威を感じた魔王の幹部がこの街へと誘き出され
そして無敵を誇ったあの機動要塞デストロイヤーが爆裂魔法で破壊されたという話を！
…嘘ではないなあ
た…たとえ勝ち目がなくても…
勝負を…勝負をしないと！


しょうがないですね…今日はもう魔法は使えませんし
では あなたが得意だった体術勝負はどうでしょう？
え いいの？ ロクに体術の授業に出なかっためぐみんが
昼休みになるとこれ見よがしに私の前をちょろちょろして勝負を誘い お弁当を巻き上げてたあなたが!?
…お前 ロクでもないな

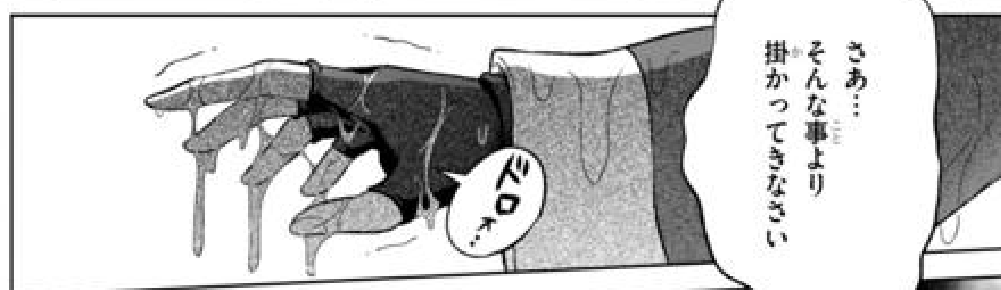

私だって家庭の事情で死活問題だったのです
自分から勝負を持ちかけたらカツアゲみたいじゃないですか
それでいいわ！
そして勝負には対価が必要だって言うんでしょう？
これでどうかしらっ
魔法使いなら誰もが欲しがる一級品のマナタイト！


よろしい！
受けて立ちます！
さあ
どこからでも
掛かってきなさい！


手加減は
しないわよっ
あなたに勝って
紅魔族一の座を
手に入れてみせるわ！


ヒュオ
……
ねぇ
めぐみん


あなたの体がテラテラしてるのって…もしかして…
そーですよこれはカエルの粘液です


さあ…そんな事より掛かってきなさい
ドロォ…


近づいた瞬間に思い切り抱きついてそのまま寝技に持ち込んであげます
ひっ…
ぬぬ…
ちょっちょっと待って嘘でしょ？
私の戦意を挫いて降参させようって気なのねっそんなのもう騙され…
ひ…
いや…
やめっ


私達友達ですよね？
友人というものは苦難も分かち合うものだと思います
いやあああっ
降参！
降参するから
はなしてえええ!!




あ　カズマ
マナタイト結晶は
差し上げます
借金の足しに
して下さい
いいのか？
それは魔法を使う時に
魔力を肩代わり
してくれる物で
普通の魔法使いなら
重宝するでしょうが…

そのサイズでは我が爆裂魔法の膨大な魔力は肩代わりできません
…なあ 何度も聞くが爆裂魔法以外のスキルを取る気は…
ないです
ですよね
ぐすっ ひくっ…
あのゆんゆんって子は使い勝手の良さそうな上級魔法でカエルを倒してたな
その後不憫だったけど
魔法だけじゃなく綺麗な顔してたしスタイルもスラっとしてたし
それに比べてこっちは…
何です? ため息ついて
はぁぁぁぁぁ…
今カズマが何考えてるか当ててあげましょうか?
…さっきの子よりめぐみんの方が美人だなって…
それはどうも! お礼にギュッとハグしてあげましょう!
や止めろ! こっち来んなカエル臭い!


うう…
こんなに嬉しくない
抱擁は初めてだ…
臭い！
ヌルヌルの女の子に
抱きつかれるだなんて
場合によってはお金を
払う人だっていますよ？


何を
シレッと…
さっさと風呂で
洗い流さねーと
ガチャ
……
何だよ
ヌルヌルが
気持ち悪いです
先に入らせて下さい


俺だって
気持ち悪い事に
なってるよ？
レディーファースト
って知ってますか？
女性は大事に
すべきですよ？
俺は
都合の良い時だけ
女の権利を主張する
ヤツは許さない
そもそも
レディー扱い
されたければまずは
一端のレディーに
なってからにしたまえ


むかっ
私を子供扱いしましたね！
言っときますが歳の差は三つしか…
俺の目には今のお前はただの子供にしか映ってないから
一番風呂は俺がもらう！
ああっ
この男本当に脱ぎ出しました！


…なるほどカズマが私を女として見てないのはわかりました
ならいっそ一緒に入りましょうか！
私を女として見ていないのなら問題は…
そうだな一緒に入れば解決だなそうするか
あれ？


ちょっ ちょっと待って下さい！
普通こういう時って…
バ…バカッ そんな事できるかっ！
かあっ
とか言って渋々私に順番を譲るものではないでしょうか？



なんて俺がそんなお約束に乗らなきゃなんないんだ
…カズマの事甘く見てました
いっいいですよっ！ならば入りましょう！
わぁばっ
ええ入れますよっ!!お風呂くらいっっ
カズマこそコソコソとタオルなんて巻いてないで！とっとと入りますよ！
こらっ引っ張るなスケベ！何でそんな急に潔いんだよ！
ふう…


たまにはお昼からお風呂でのんびりするのも悪くないですね…


なぁ…あのゆんゆんって子放っといて良かったのか？
どうせまた会えますよライバルを自称する私の追っかけですから
まあ可愛い子ではあったなめぐみんの知り合いにしては常識人だったし
…その言い方だと私に常識がないように聞こえるのですが


というかあの子も私と同い年ですよ
あの子は子供扱いしないいんですか？
チラ…
あ…
同い年…
そうか…同い年か…
おい
今 私を見て思った事を正直に言ってもらおうか

なら…あの子も13歳って事か…俺の許容範囲はせめて2歳年下までかな
せめて14歳なら中2と高1でまだギリギリ大丈夫だと思うんだが
ちゅうにとこーいち？
…よく分かりませんが一応 私は来月には14歳なのですが

あれっ14⁉マジで？
お前ロリキャラ卒業するの⁉
誰がロリキャラですか‼


てか…
なんて言うか…
できの悪い妹
みたいに思ってたのが
なんだか
できの悪い後輩
みたいに思えてきて…


ど どうしよう
なんかこの状況が
恥ずかしく
なってきた…
ちょっ
いきなり
止めて下さい
年齢一つで
そんなに変わる
んですかっっ!!
…なあ 何で
俺とめぐみんって
一緒にお風呂に
入ってんの?
これって
よく考えたら
マズくないか?
今更
何をっ
というか
チラチラ見てくるの
止めてほしい
のですが!


こ…この状況
見られたらシャレに
ならないよな…
大体
こういう時に限って
空気読まないヤツが
…は


ただま——っ!!
カエルを売ったお金もらってきたわ——
カズマーめぐみーんどこ——?
言わんこっちゃない!!
カズマがそんな前振りみたいな事言うから!
って何で一緒に出ようとするんですかっ!!
かっ鍵は? 脱衣所の鍵は閉めたっけ?
しっ閉めてません閉めてませんよ!
くそっこんなトコ見られたらロリニートだのロリマさんだの不名誉なアダ名をつけられて…!
今なんつった!?


カズマー
あれ…
お風呂中？
ドドドドドド
うおお――
収束せよ
俺の全魔力っっっ!!
フリーズッッッ


カエルのお金
置いといたからねー
あとでご飯食べに
行きましょうっ
…カズマ
大丈夫ですか？
そ…そら中に人が
いるってわかってれば
わざわざドア開けたり
しないよな…
魔力が…


あ…危うく俺がロリコン認定されてしまう所だった…
あ…めぐみん悪いけど動けないから体を拭いてくれ…
おい
私と風呂に入ったらロリコン認定される件その辺の話をしようじゃないか
身動きがとれないこの状況でまた随分と強気な発言ですね！
こっ こらタオルを剥がそうとして…何する気だ!!
助けてアクア——!!ロリっ子にイタズラされる——っ!!


くそ
結局 昨日は
アクアにロリニート
認定されちまった
気晴らしに
何か
うまいモンでも…


安いよ
安いよー
お姉ちゃん
一本どう？




よう


何やってんだ?
あ


第二十六章
この紅魔の娘に友人を！②


あ……


奇遇だな
一人？
えと…
カズマ…さん
こっ…
こんにちは…！


……
……

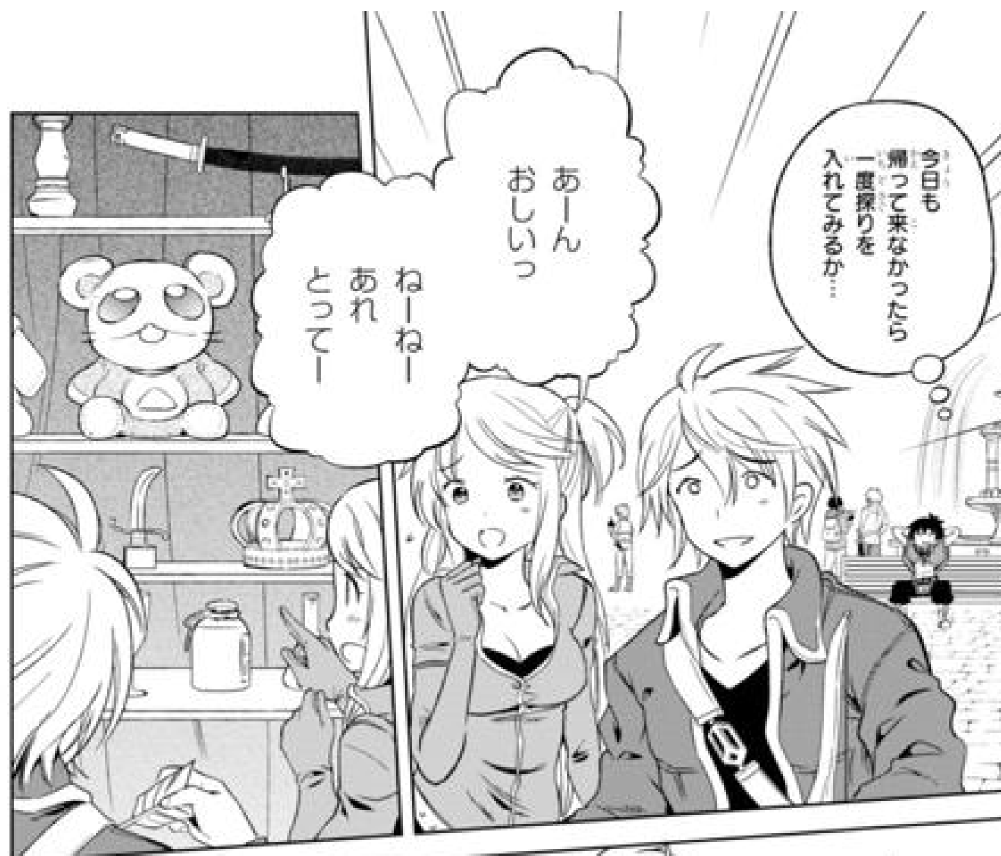

……
買わないの？
あっ
いえっ…
串焼き
らっしゃ〜い
私は…その…
別に…
ごにょ…
ごにょ…
ま
いいや
おじさん
三本ばかし
頂戴
あいよー


兄ちゃん
冒険者？
最近 街の近くに
妙なモンスターが
出るらしいから
気をつけなよ
妙な？
何でも
動く物を見かけると
くっついて自爆
するとか何とか


そか
気をつけるよ
まいどー
それじゃ
またな
あ…
はい

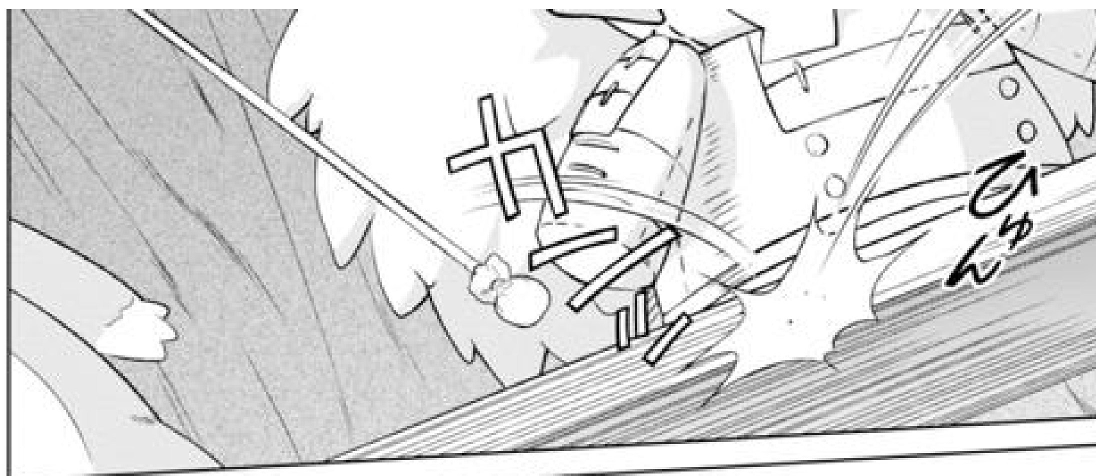

あ…
あのっ
今の人と
同じものを…っ


結局…昨日も
ダクネスは帰って
こなかったな…
あの領主…
ダクネスに異様な
執着を見せてるとか
言ってたし
囚われてないか
心配だ…


今日も
帰って来なかったら
一度探りを
入れてみるか…
あーん
おしいっ
ねーねー
あれ
とってー


ありがと～♡
あ
いらっしゃい
お嬢さんも
やってく？
射的


あ…


カーン
ぴゅん


あー残念…
一本も当たらなかったね…
弓の扱いは得意じゃなかったかな？


もう一回やる？
い…いえ
私はもう…
おじさん一回ね


狙撃！
ポン
ヒュン
ヒュン
ポスッ


ホラ
これが欲しかったんだろ?
ちょっ…ちょっとお客さん!
アーチャーと狙撃スキルはお断りって書いてるでしょ!
景品はあげるけど料金は倍払ってよね!
あの
あっす…すみません…

ありがとうございますっ



紅魔の里には
こういうお店
なかったから
冬将軍うれしいです
やっぱまれ冬将軍なぁ…
なるほど
露店での買い方がよく
わかんなかったのか
ひょっとして
世間知らずの
箱入り系かな？
族長の娘とか言ってたし
しかし…
この子のライバルが
ウチのパーティーに
いるけど 特に
嫌われてる感じは
しないよな
カズマさん
見て下さい
アレ！
ダぁぁぁ!!


ぬあっ
いでてっ…
ハイ！
このお兄さんも
無理でした ー！
クソ…
だめか！


さあ
次の挑戦者は
いませんか!?
伝説の鉱石
アダマンタイト！
見事 破壊できたら
高額賞金ゲット！


アダマンタイト
砕きですって！
参加費は一万エリス！
魔法を使っても
かまいません！
お客さん一人が
失敗するごとに
五千エリスが賞金に
上乗せされます！
へぇ…
色んな商売
考えるもんだな
よっしゃ
次はオレだ!!


ゆんゆんも
やってみたら？
魔法使っても
いいみたいだぞ？
ガオリャー!!
ダメだ〜っ
ハイ残念でした〜
爆裂魔法まで
いかなくとも
爆発魔法か　せめて
炸裂魔法とかの爆発系の
魔法を使わないと…
そんなっ
無理ですよっ
アダマンタイトなんて
爆裂魔法
かあ…


ハアッ　ハアッ
くそっ
あー残念！
このお客さんでも
無理でしたか
この街の
冒険者の方々には
荷が重かった
でしょうか!?
機動要塞デストロイヤー
をも倒したと聞き
わざわざ
やって来たのですが!!


チッ
オイ お前
やってみろよ
オレには
無理だ
お前が行けよ
どっかにアレ
破壊できる
ヤツは…


真打ち登場



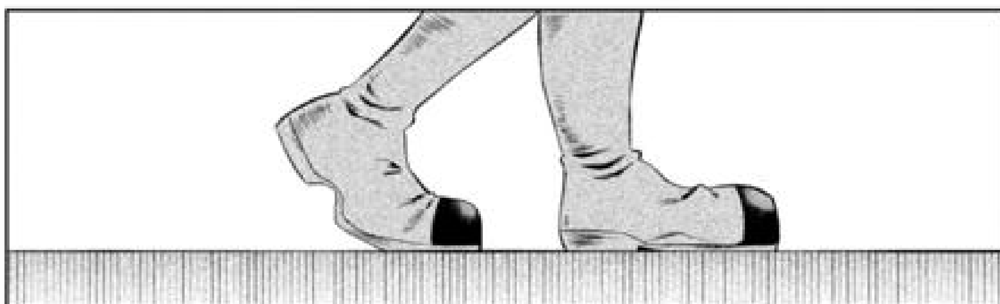
おい
まだ何もしてない女の子相手にこの仕打ちは…
おっちゃんっ店たたんで逃げろっ
コイツは町で噂の爆裂狂だ!
コイツにヤらせたら骨も残らねーぞ! 早く逃げろっ
ひっ…ひいいいい——っ そっそれでは皆さんまた会う日までーっ
ああっ 我が爆裂魔法なら破壊できるのにっっ

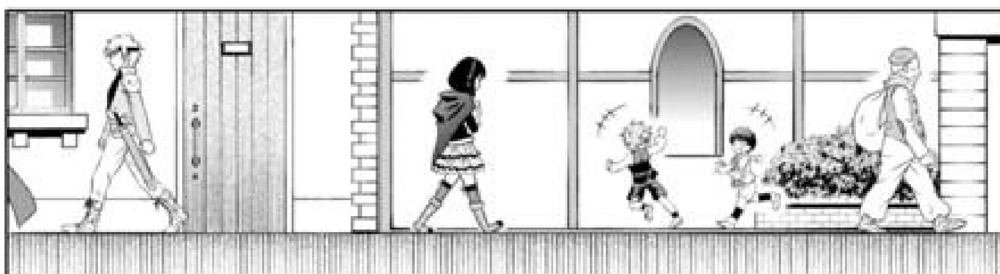



で　お前
何やってたんだ
ヒマつぶしに
街を歩いてたんです
そういえばあっちにも
今のと同じような
商売をしている露店を
見つけたんで怯えさせに
行きましょうか
…お前
爆裂狂なトコ除けば
もっと常識人だと
思ってたよ…
じゃあ
街を見てまわるか
ゆんゆんも
一緒に来るか？
あ…


はっ
わ…私は
めぐみんとの勝負に
勝つためにこの街へ
来たのよっ
さっきの射的の事は
お礼を言います！
でも馴れ合いに
来たんじゃない…
だから一緒には
行かないわ！


だそうです
行きましょう
お…おう
んじゃまたな
ゆんゆん






はぁ…


……
何で ついてくるの？
相変わらず ぼっちなゆんゆんの 寂しそうな泣きっ面を 拝もうかと




…とまあゆんゆんは 紅魔族でも 自分の名前を 恥ずかしがる 変わり者でして
学園でもいつも 一人で寂しそうに ご飯を食べてました
ま… 待って！ そ…そこまで 酷くはなかったわよ！
と…友達だって ちゃんといたし！


え…今何と… ゆんゆんに友達…？
そうよっ
ふにふらさんとか どどんこさんとか！
私達友達よねって 言って私の奢りで 一緒にご飯を食べに 行ったり…
オイ止めろ それ以上は 聞きたくない


つまりこの子は
変人ばかりの紅魔の里で唯一常識人だったために周りから浮いていたと…
なんて不憫な…
な 何でもいいから!勝負しなさいよめぐみん!


急ですねまあいいですよ
勝負内容もおまかせします
私はもう勝負事に拘るほど子供でもないですから


ずいぶん余裕ね
子供じゃないって言うなら昔やった私との発育勝負をしてもいいのよ?
いえ 子供じゃないってのは別の意味で子供じゃないって事です
だって


私はここにいるカズマと一緒にお風呂に入るような仲ですから
!?


!?
!?
!?


ちょっ…お前やめろよそれを人に言うのは…
!!!?!?
き…


今日の所は私の
負けにしといて
あげるからあああああ
――――っ!!

さらり

今日も
勝ち!
お前
本当にそれで
いいのか


おい 駄女神


毎度毎度その席陣取ってないでたまには譲れよ
イヤよ譲ってほしければ対価を払いなさい


汝 神の住まう地を欲する者よ高級酒を我に捧げよ
さすれば迷えるニートに暖かな光が射すであろう!
アホか!
ダクネス…昨日も帰ってきませんでしたね…
ああ…

こうなったらこっちから領主の所へ出向いて…
た 大変だ! カズマ 大変なんだ!




……
あんた誰？
…っ！
んんっ…くっ
ってカズマ
今はふざけてる
場合じゃない！
そういったプレイは
後にしてくれ！
は…


ダクネス⁉
お前
ダクネスか⁉
そうだっ
なぜ
気付かない⁉


今まで
何やって
たんだ？
心配したけど…
とにかく
帰って来て
良かった
それは…


すっ
…間違いなく高級品よ
きっと領主の人にオマケで買ってきたのね
なっ


すまんダクネス…
俺のためにこんな苦労を…
うるうる
バカッ！何を勘違いしている！
別に領主に変な事はされてないしこのドレスも自前だ!!


そーなの？てっきりすんごい目に遭わされてきたのかと…
じゃあその高そうなドレスはどうしたんだ？
と…とにかくまずはこれを見てくれ


誰だこのイケメンは？
ムカッ
やめろ！見合い写真を破こうとするな！
ピ…

は？見合い!?
そ　そうなんだ！
アルダーブめ　ああは言っても私には無体な要求はできないと知ってこんな小賢しい手を…っ！

ちょっと待て！さっきから全然わかんねーぞっ
一からちゃんと説明しろよ！
あ…ああそうか…
しかし…何から話せばよいものか…

お前達には言いたくはなかったのだが…

わ…私の本名はダスティネス・フォード・ララティーナと言う…

そこそこ大きな貴族の娘だ…




何？ じゃあ ダクネスの家の子になれば毎日ゴロゴロ贅沢三昧できるって事？
ぱぁぁ
い…いや 当家は今の所 養女は必要としていないから…
プッ
お前…真面目くさった口調なのにララティーナなんて可愛らしい名前だったのか⁉
ララティーナ
だから名を明かしたくなかったのだ！

ああっ もうっ とにかくだな 写真の男はアルダープの息子だ
ララティーナ言うな！
え…あんなハゲオヤジの一 それで？ ララティーナ
アルダープは自らではなく自分の息子と私を結婚させようとしてるんだ

あいつは自らが私との結婚を申し出ても蹴られると分かってたのだろう…
だが 私の父はアルダープの息子だけは高く評価しているのだ
それで結婚に乗り気な父に取り入って私と息子を結婚させようと…
だが何故アルダープは自分でなく息子と私を結婚させようとしてるのか…


イヤなら断ればいいんじゃないか？
今までも見合いの話が来る度に断り続けてきたのだが…
今回は私が何でも言う事を聞くと言った上に画家の親があぁも乗り気では…

ど…どうしよう
ここ数日 何とか見合いを阻止しようとがんばってたんだがどうにもならず
今日の昼にやる事になってしまった！
ほえ〜な
オイ!!

カズマ…私は今の暮らしに満足しているんだ
冒険者として名が売れればやがて魔王軍の手の者に目をつけられ抵抗むなしくも捕まり…
それはもうとんでもない目に遭わされてしまうだろう…手枷足枷を付けられあられもない姿で…
くっ…
お前 もう引退して嫁に行った方がいいんじゃないかな
やっやめろぉ!


しかし…
どうする
本当に
ダクネスが貴族の
令嬢ってのも
驚いたけど…
帰って来たら
いきなり
見合い話だって…
いや 待て
嫁に行くって…
それって
めでたい事じゃ
ないか?
つまり
コイツが
ウチのパーティーから
寿退社するって事だろ?

別に
いらない子として
パーティーから
追い出す訳じゃない
ダクネスが
嫌いって
訳でもない
おかしな所は
多々あるが
悪い奴じゃないと思う
だが貴族の令嬢を
冒険者として
縛りつけても
いいものだろうか?

いいや
良くない!
ダクネスが
結婚すれば
親御さんも
安心する!
あの…
カズマ


何か…適当な理由をでっち上げて何とか断ろうかと…
それで…父を説得するため一緒について来てほしいのだが…




これだあああぁ！
ああああああああ!?


あ
しまった
何て事するんだ！
元に戻せ！
悪い悪い
いい事
思いついたんでな
え？
ちょっと
聞いてくれ！


あのな
この際 一度
見合いをしてみたら
どうだ？
何だと!?
どうせ今回
断った所で また
親父さんは次の話を
持ってくるだろう？
う…
確かに…
その内に
親父さんは強硬手段に
出るかもしれない
なら一度
見合いをして
ぶち壊して
しまってはどうかと
何!?


もちろんダクネスの
家の名が傷つかない
程度にして
相手から断らせるんだ
するとどうだ
親父さんもきっと
次に持ってくる見合いの
話は慎重になるだろ
言っちゃ何だが
今回の相手は
悪名高い
領主の家
他の真っ当な
貴族との見合いを
ぶち壊すよりは
傷は浅いだろう


そっそれだ
カズマ！
それでいこう！
上手くいけば
見合い話が持ち上がる度に
父を張り倒しに
行かなくて済む！
親父さん
可哀想に…


なるほどっ
それは良いわね！




私てっきり
「手の掛かるのが一人
嫁に行ってくれれば
その分新しいメンバー入れて
楽できるぜヒャッハー！！」
みたいに考えてたかと
思ったわ！
い…いや
違うよ？
そんな目で
見るなよ

第二十七章 この貴族の令嬢に良縁を！①




本当か？ ラティーナ！
ダスティネス・フォード・イグニス
ほ…
見合いを前向きに考えてくれるって…


本当ですお父様


ララティーナは此度このお見合いを受けようかと思いますわ


ねえっカズマさん！今お父様って呼んだわよ！
プッ
ばっ…ばっか！それよりも自分の事ララティーナって言ったぞ！
ララティーナ…その二人は？



初めまして 自分は日頃 ララティーナお嬢様に お世話になっている サトウカズマと申します
この度 このお見合いが 無事成功した暁には… 身分の違いからお嬢様には 会えなくなるでしょう
ならば最後に 無理を承知で傍に控え 大切な仲間を 任せられる相手かを 拝見したく存じます

ポカ―――ーン



カズマ様 サイズは 大丈夫でしょうか
…うん 大丈夫みたいです
わー♡
アクア 似合ってる じゃないか
今のお前なら ちゃんと一流の 使いっ走りに見えるぞ
カズマこそ 背伸びしてる執事 見習いって感じで いいと思うわ
意地悪な先輩に いじめられて 屋敷の裏で泣いてそうで いいんじゃないかしら
ハハハ 言ってくれるな


でも…
意外だったわ
何がだよ？
カズマがダクネスのお父さんにあんな立派な挨拶するなんて
あたり前だろ俺だって決める時には決めるさ
なんせ今の俺は超クールだ


お嬢様を無事嫁に送り出せるなら何でもできる！
先行き不安な俺のパーティーでお嬢様を縛りつけるよりも結婚した方が親御さんも安心するはず…！
だからダクネス…お前のためだ悪いがお見合いは絶対に成功させてやるからな！
たのんだぞカズマッ
見合いをぶちこわしてくれっ


幸い…勘づきそうなめぐみんは用事があって出かけて行ったし
アクアは大丈夫だろう
それに…
カズマ君と言ったね
君に頼みがある


いや…親バカと思うかもしれないが娘の事でな
見合いの席で娘が粗相をしない様に助けてやってほしいのだ


不思議と君には他の男には無い何かを感じる
是非引き受けてくれないか
勿論上手くいったら報酬は弾ませてもらうよ
たっぷりと
お任せ下さい!


丁度
親父さんと利害も
一致してるし
執事として傍に
ついていた方が
都合がいい
……
二人とも
頼んだぞ
何としても
この見合いを…
わかってるよ
許せ
ダクネス

間もなく
相手の殿方が
到着する
皆
粗相の無い様に

しかし…
お前がお見合いを
受けてくれるなんて
本当に嬉しいよ…
アルダープから
話を持ちかけ
られた時は
何事かと思ったが…
目頭が熱く…
嫌ですわ
お父様…
見合いを
前向きに考えると
言っただけですよ…
ん？


そ…それは
どういう…
フフフ。。
そして
考えた結果
やはり嫁入りには
まだ早いとの
結論に達しましたっ
あ
もう今更
遅い!!
見合いを
受けはしたが
結婚するとは
言ってない!
ぶち壊してやる
見合いなんて
ぶち壊してやるぞ!!
ラッ
ララティーナッ!?

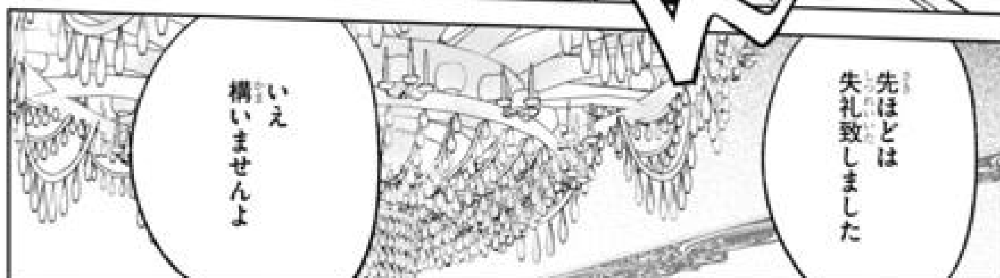

お父様…残念でしょうが諦めて下さい
ま…まさかそこの二人も最初から…
お嬢様その様なはしたない言葉遣いは慎んで下さい


っ!?は!?
カズマ!?
ダスティネス家の御令嬢としてふさわしくありません正して頂きますよう…
きっ…貴様裏切る気か!?
裏切るも何もありませんよお嬢様
今の自分はダスティネス家の臨時執事お嬢様が幸せになられる事が望みですので


お…おおカズマ君
き…君は…君は信じてもいいんだね…?
お任せ下さいこのカズマ全力でお嬢様を…
旦那様お見えになられましたが…


本日はお招き
頂きまして
有難うございます
アレクセイ・
バーネス・バルターと
申し…
くそっ
貴様が私の
見合い相手か！
我が名は
ダスティネス・フォード・
ララティーナ！
私の事は
ダスティネス様と呼


おっと危ない！
お嬢様の後頭部に
刺す虫がっ


先ほどは
失礼致しました
いえ
構いませんよ


お嬢様も
とても緊張
されてまして…
そうですか
ホッ
僕もここに来るまでは
緊張しっぱなし
でしたから


ねえカズマ いいの?
何が?
この見合い ぶち壊すんだって 言ってたじゃない
いいんだよ これで
日頃の冒険で アイツのロクでもない 性癖知ってるだろ?

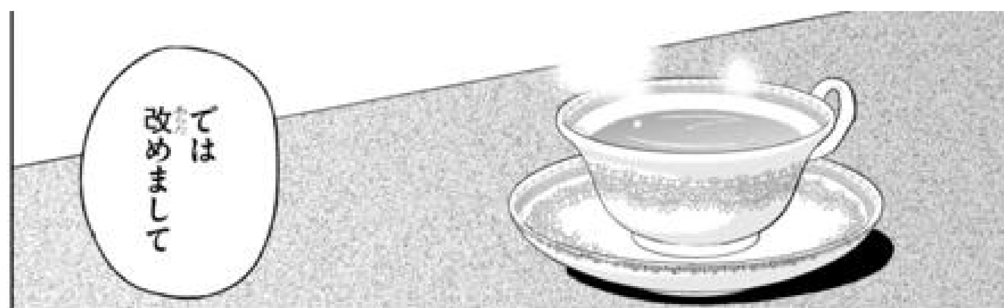

ここらで 身を固めさせて 冒険者引退して もらった方が 皆安心するんだよ
だからお前も フォローしろよ?
えー? 一方的な 気がするん ですけど――…
でも確かに ダクネスは このままじゃマズい 気はするわね…
あっ


どうされました? ララティーナ様っ
私… ヒールの踵が 折れてしまったようで…
ニヤリ!
バルター殿 お手を借りても よろしいですか?


お嬢様
どうぞお手を


いくらバルター様がお気に召されたからと言って婚約前から甘えてはいけませんよ？
バルター様申し訳ございません
本日のお嬢様は少々浮かれており
あだだだだ折れる！折れますお止め下さ…
止めろってんだろお嬢様!!
ギギギギ


裏切り者め
家の名が傷つかない程度っつったろ？暴走しすぎだ
あの人に何かしでかしたらとんでもない悪評が立つぞ
何故 私に協力をしない？
私はかまわないのに…覚えてろよ
あの…大丈夫ですか？
いえ 何でもありませんわ 参りましょうか



アレクセイ・バーネス・バルターです
アレクセイ家の長男で父の領地経営を手伝っております
わたくしはダスティネス・フォード・ララティーナ
当家の細かい紹介は省きますわね
成り上がりの領主の息子でも知ってて当然なん
うあああっ!?


どっ
どうされました？
いっいえ…
バルター様の
お顔を見ていたら
何だか気分が悪く…
んんっ!!
ギュウウウウ
本当に
大丈夫ですかっ


ダクネスお嬢様は
今朝からお腹の具合が
悪いんですよね？
そうよね
ダクネス！
痛いなら無理
しちゃダメよ！
えっ!?
ちっ…違っ…


どいてろっ
お…お嬢様は
バルター様と
お会いになるのを
楽しみにして
おりましたので…
ホラ…顔を
真っ赤にして照れて
いらっしゃる
でしょう？
グリグリ
そうですか
何だか僕も
照れますね

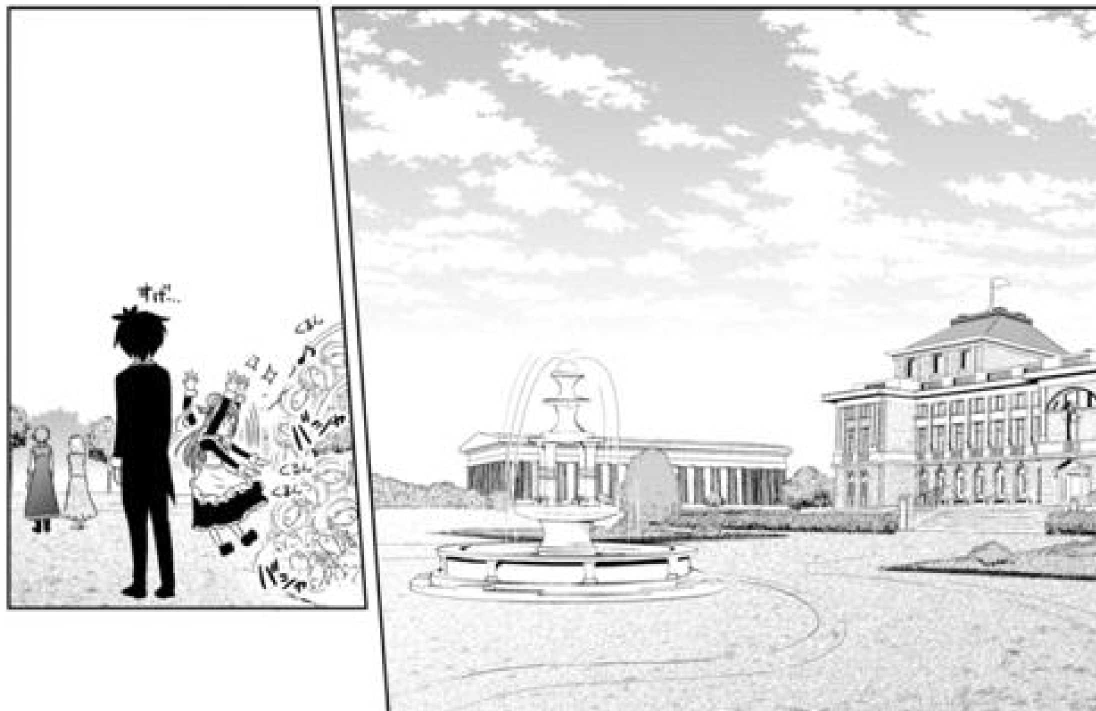

バルター殿 この度は屋敷が 崩壊したと聞いたが 大丈夫かね？
何なら君だけでも 我が家に住むかね？
ははっ いえいえ…
お美しい ラティーナお嬢様と 同じ屋根の下では 我慢がとても大変 そうなので…


ハハハ まだ少し気が 早いんじゃないかね
プル
プル


あの男 人当たりも良くて いいヤツじゃないか
ヤバイ 爆発寸前だ…
こんな良さそうな 男なのにどうして コイツは 不満なんだ…？
さて


私は席を外させてもらうよ
あとは若い者だけで楽しむといい


頼んだぞ
お任せ下さい


すげ…
くるん
パシャ
くるん
くるん
パシャ


ララティーナ様ご趣味は？
あ…
え…えーと


ゴブリン狩りを少々…
ぐふっ!!
ドムッ!!


ゲホッ…何をする！
バカか！もっとマシな事言え！
……
随分と仲がよろしいんですね


ピーン
はっ!


そ…
そうですすのよ?
このカズマという
執事とはいつも
一緒におりますの
しまった!!
ギュッ
食事も
お風呂も…
勿論 夜寝る時も…
そ…
そうなんですか


いえとんでもない!
ララティーナお嬢様は
ご冗談が大好きでして!
ばふっ!!
お戯れは
その辺に
ララティーナ様!
おや?
どうしました
ララティーナ様
顔が赤いですよ?
ララティーナ様っ
お…
覚えてろよ…


ギャイギャイ!!


……本当に仲がよろしいですね…
妬いてしまいますよ


ぐっ


もう止めだ!
こんな事やってられるか!
ビリッ
ビリッ
ラ…ララティーナ様
おお

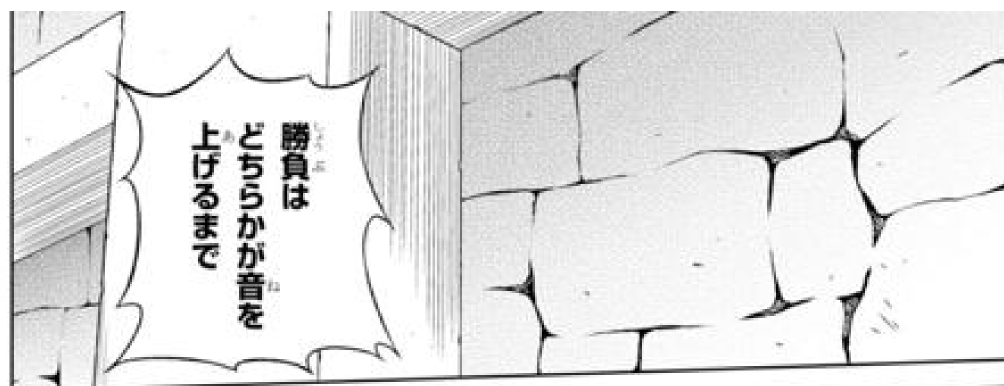
貴様
バルターと
言ったな！

私と剣で
勝負しろ！

お前の素質を
見定めてやる!!

えっ




勝負は
どちらかが音を
上げるまで


こんなのもう無理
お願いこれ以上は
許してと言わせてみろ！
そうしたら嫁でも
何でも行ってやる！
……
ラライティーナ様
僕は騎士です


訓練とはいえ
女性に剣を向ける
事などできません
何という
フヌケだ!!
そこのカズマはな
自称男女平等主義者で
女相手にドロップキックも
食らわせられると
豪語してる奴だぞ
少しは
見習え!!


テメー！
完全に
開き直りやがって！
もう収拾つかねーぞ！
かまうものか！
家を追い出された方が
かえって好都合だ!!

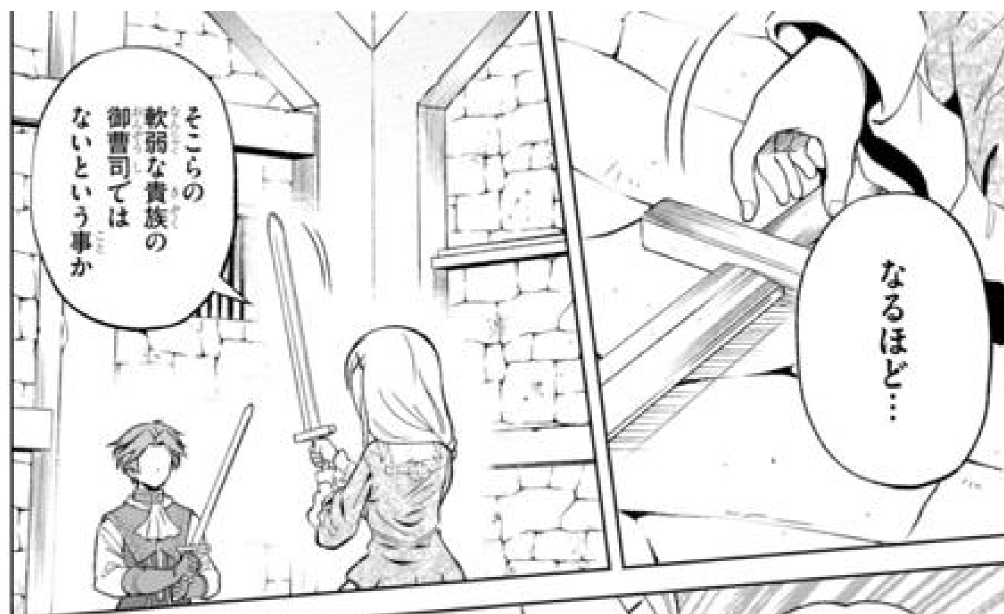

……
分かりました
正直言って
僕は
あの父に
押しつけられた
今回の見合いを
断るために来たんです
…でも
あなたを見て
気が変わった


どこにでもいる
貴族の令嬢とは
訳が違う
流石は王国の
懐刀の一人娘だ
僕はあなたに
興味が湧いた
行きますよ
ラティーナ様！

第二十八章 この貴族の令嬢に良縁を！2




第二十八章
この貴族の令嬢に良縁を！②


なるほど…
そこらの軟弱な貴族の御曹司ではないという事か

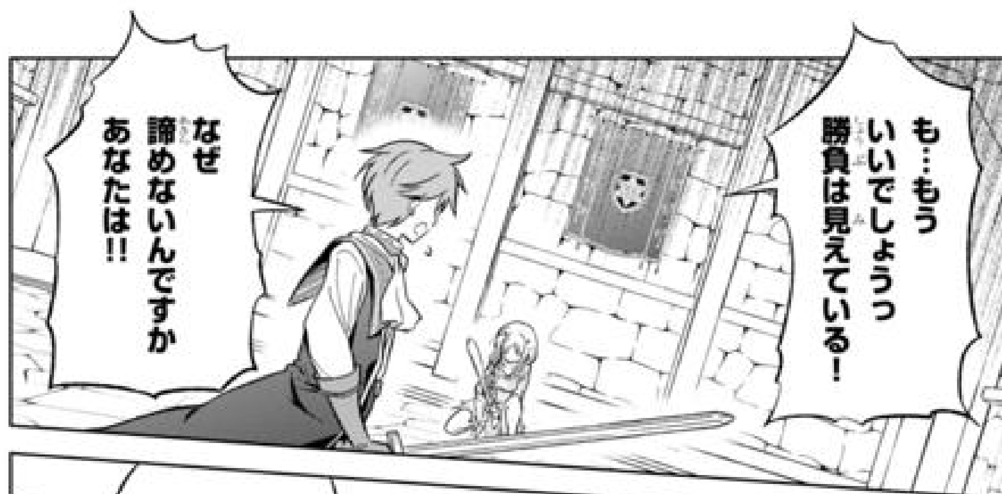

だが これで終わりではなかろう！
女と思って遠慮するなっ かまわず打ち込んでこい!!

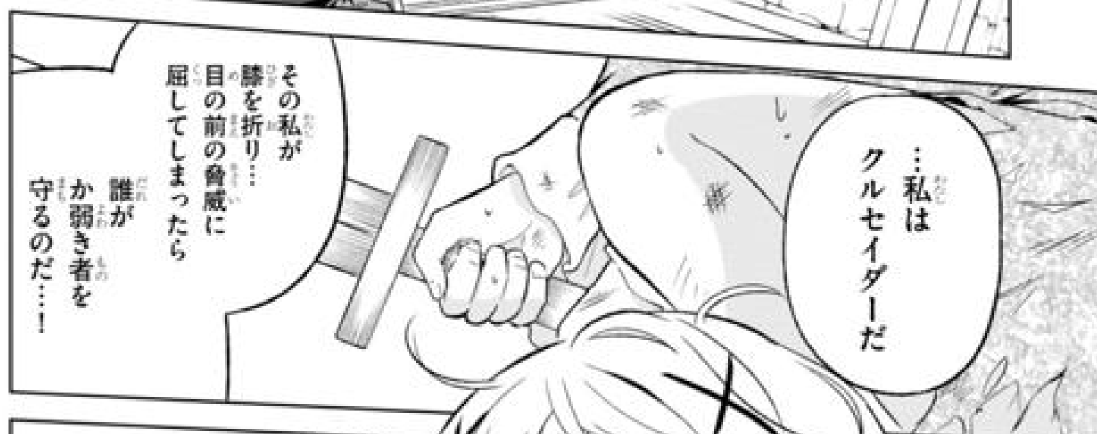

流石です ララティーナ様っ
では遠慮なく！


ギギギ…
ぐっ…!
なんのっ
まだまだ!


すげえ…
あの男
剣の腕も一流だ
ハァ
ハァ


……
どうした？
もう
終いか？
な…


も…もう
いいでしょうっ
勝負は見えている！
なぜ
諦めないんですか
あなたは!!


…私は
クルセイダーだ
その私が
膝を折り…
目の前の脅威に
屈してしまったら
誰が
か弱き者を
守るのだ…！


たとえ どんなに
打ちのめされようと
私の心は折れない！
絶対にだ!!
さあ どうした!?
殺す気で
かかってこい!!
オイ
顔が緩んでるぞ

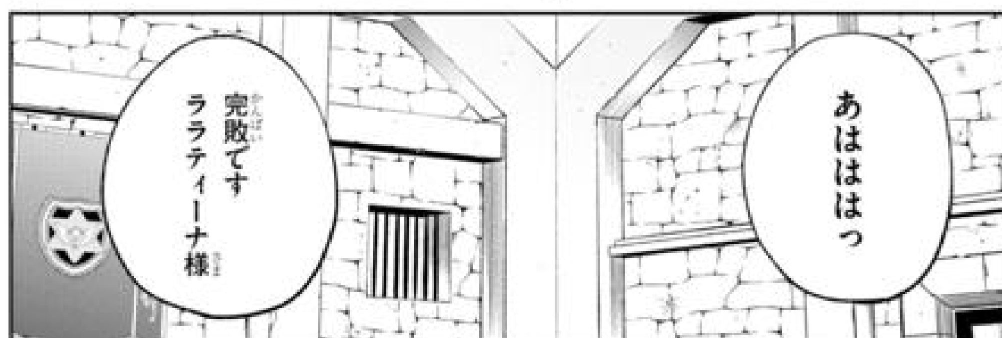


…参りました
僕の負けです
ガシャッ

剣の技量では
勝っても
心の強さには
敵わなかった…

あなたは
とても強い人だ


…何だ
終わりか…
つまらん
修行して
出直してこい
…ぷっ


あはははっ
完敗です
ラティーナ様


…本当に
惚れてしまった
だが
このままでは
収まりがつかんな…
ならば…


来いカズマ
はあ!?
お前の外道さをバルダーに見せてやれ!
何言ってんだ! 誰がやるかそんな…


僕も見たいな
ラティーナ様が信頼を寄せる者がどんな戦い方をするのかを
なっ!


面白そうじゃないいっやりなさいよカズマっ
お前まで…
はあ… わかったよ
どうせ見合いはもう失敗だしな…


それに あんたは
お嬢様の悪い噂なんて
流さないだろうし
俺が本当の執事
じゃないのだって
とっくに
感づいてんだろ?


さあ
全力で来い
カズマ!
お前とは一度
やり合い
たかったのだ!
様々な搦め手を使って
相手を叩きのめす
非道ぶりを見せてみろ


よーし!
ならば相手
してやる!!
クリエイト・
ウォーター!!


えっ!?
ん?


どうかしたか?
い…いや
木刀を握っての試合で普通 魔法は使わないだろうと…


引くわ~
流石 セクハラにかけては並ぶ者がないカズマさんだわ!
ホント引くわー
フ…フハハハ
見ろ
バルター!!
木刀の勝負と見せかけ いきなりこんな辱め!!
この卑劣なやり口をよく見ておけ!!

くそっ
好き勝手
言いやがって!!

お望み通り
全力で
行くぜ!!

フリーズ!!

ああああー!!

お…鬼だ!

水を浴びせた
後に
氷結魔法…!

伊達にカズマさん
クズマだの言われて
ませんね!

なんの
これしき!!


ブンッ
ブンッ
おおっ
ブンッ


カズマ…
今日はよくも
裏切ってくれたな…
報いは受けて
もらうぞ…‼
ギギギギギ
な…
なあ 一つ
提案なんだが


あのバルターって
ヤツとの結婚
考え直してみる気は
ないか？
イケメンで
剣も達者だし
いい奴だと
思うんだが…
何？
あの男は
私の好みのタイプ
ではない！
あ？


も…もしかして
あの領主の息子
だからイヤだとか…
違う!!
あいつは
領主の息子とは
思えないくらい
評判が良くて
恵まれない者達に
献身的に施しを
している様な
奴なのだ!!
は!?
それのドコが
いけないいんだ?

ダメだ!
そんな
素晴らしい事は
別の人間が
やればいい!!
私を嫁に
しようとする貴族が
やる事ではない!!

人が良く
頭も良い
人望もあり
努力家で悪い噂など
一切聞かない
完璧な男だと!?


ふざけるな!!
貴族なら貴族らしく
常に下卑た笑みを
浮かべていろ!
そもそも
私の好みのタイプは
あんな出来る男
ではない!!


外見はパッとせず
ひょろい体型か
小太りで
私が一途に
想ってるのに
すぐに他の女に
鼻の下を伸ばす
年中発情してる
スケベそうなのは
必須条件だ!!


借金があり
楽に人生送りたいと
舐めてる
ダメな奴がいい!
働きもせず
酒を飲んだくれ
世間の悪口を言いながら
私にこう言うのだ
「おいダクネス
そのいやらしい体を使って
ちょっと金を稼いで来い!」
…と…っ!


いい加減にしろド変態がっ!!
あああぁ!?
ドレインタッチ!!
～～～～～～っ!!
ダクネス…一つ賭けをしようじゃないか
な…何？
勝った方が何でも言う事聞かせられるって事でな！
畜生この女はもうダメだ手遅れだ


い…いいだろう お前は私に勝てる つもりだろうが 甘く見るな
体力を全て 奪われる前に 腕をへし折ってや…
ギリ ギ…
言ったな 俺が勝った後 泣いても謝っても 止めないからな
ピク
…何だ 私が負けたら 何を望む気だ？
な…
お前が顔を 真っ赤にして 恥ずかしがって泣いて 嫌がる様な事だよ

何だ… 私に一体何を させる気だ…⁉
言えっ 言ってみろ‼
へへへ… お前が今想像 してる事よりも 遥かに凄い事さあ…

目が覚めた後 どんな目に遭うか 楽しみにしてろ
お前は俺の ペットになって こう言うんだ
「もう許して ご主人様っ」 ってな‼
ご…


ご主人様あああ!!
…

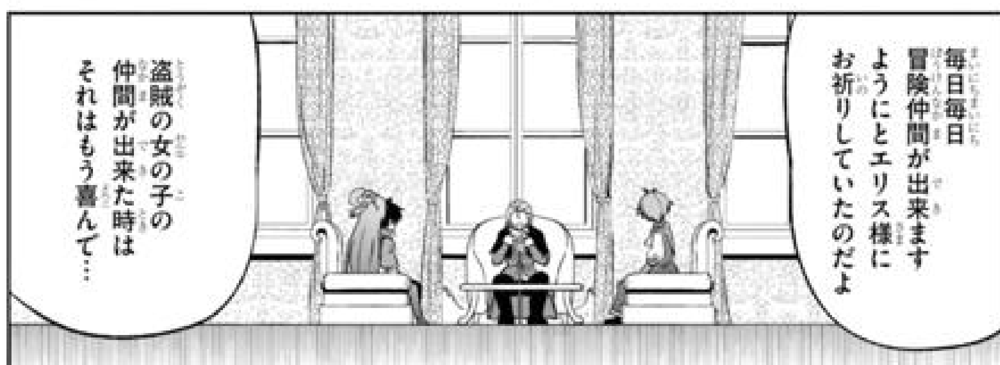

な・・・
かっ
た


何という
容赦のない
卑劣な攻めの
数々・・・!
クズマとは
よく言ったものだ!
しっ
失礼なっ!!


しかし…僕もまだまだ精進が足りない…
もっとラティーナ様の理想に叶う男にならなければ…っ!
いや あんたはそのままでいいと思う
ガチャ
やっとるかね
修練場にいると聞いたので飲み物の差し入れを…


あの二人がやりました
よし二人を処刑しろ
違うんです誤解です!!


娘は昔から
人付き合いが
苦手でなあ…


毎日毎日
冒険仲間が出来ます
ようにとエリス様に
お祈りしていたのだよ
盗賊の女の子の
仲間が出来た時は
それはもう喜んで…


妻を早くに亡くし
男手一つで
自由に育ててきたのが
よくなかったのかな
うう…
ああなって
しまって…
アレか?
あの性癖の事
言ってるのか?
だったら親父
なぜこんなに悪化
するまで放っといた!!
ラランティーナ様は
素晴らしい女性
ですよ
カズマ君が
いなかったら僕が
妻にもらいたいと
思ってます
は!?


あんた何言って…!!
ははは そうか それなら仕方がないな カズマ君 娘の事よろしく頼む
…何だ 私が寝てる間に何があった?
いや…だからっ!!
おお 目が覚めたか ララティーナ


むっ この状況はっ
もしかして 意識を失ってる私にいかがわしい事を…っ!!
してねーよ!! お前のせいで微妙な空気になってんだよ
…何の事だ?
いや… だから


はっ
あ?
お父様… バルター様… 今回の見合いはなかった事にして下さい


実は
私のお腹には
カズマの子が…
おめー
童貞の俺に
何言ってやがんだ
こらあああ!!
処女のクセに
マリアかおめーは!!
腹パンすんぞ!!


そうか…
お腹にカズマ君の子が
いるのなら仕方ない
諦めるとします
オイ!!
あわわわ…
カズマとダクネスが
そんな事に
なってたなんて…
広めなきゃ…
街中に
広めなきゃ…!
黙れ
駄女神!!
お…お…
孫…このワシに
可愛い初孫が…っっ
あんたも
目を覚ませ!!


お前らいい加減にしろ――!!


まったく…最初から素直に断ればよかったではないか
それはこっちのセリフだ


それにしてもバルターはいい奴だったな
父には僕からお断りをしたと言っておきます
その方が都合がいいでしょう
本当にダクネスを引き取ってほしかったくらいだ
まだ言うか!
それはそうと私が負けたら凄い事を要求すると言ってたが?
ガチャ
それはまたの機会に…
ただいま



ぐすっ…
あんまりよおおお
めぐみん〜〜〜〜
いい加減
泣きやんで下さいっ
こんなタイミングで
カズマ達に見られたら
私が悪者に…
あ
違うんです！
今 説明
しますからっ
いいよ別に
お前がいじめっ子
なのは今更だし
そんなっ
むしろ私は学生時代
ゆんゆんを…
いえっ 今は
それどころじゃ！
まずいですよっ
例のセナという
検察官がこちらに
向かってます！
今度こそ
カズマを逮捕する
とか言って！
ゴゴゴゴゴゴ


第二十九章
この仮面の騎士に隷属を！①
サ
ト
ウ
カ
ズ
マ

は
いるかああああー!!

ドドオオーン





貴様っ
性懲りもなくまた
やらかしたな！
一体 あそこで
何をした!?
待て
何をしたって…
俺が何をした!?
ダンジョンだ！
街の近くの
キールのダンジョンっ！
あそこで
謎のモンスターが
大量に湧き出している！



キールの
ダンジョンて…
あの…
やあ
最後に潜ったのが
あなた達だと
言うじゃ
ないですか！
前例から言って
あなた達の仕業としか
考えられないんですが!?



そんな一方的に
言われてもなあ…
今回は全く
関係ないぞ？
お前らも
心当たり
無いよな？
コクコク
本当に？
ああ
じぃーーーっ…


そ…そうですか
疑ってすいません
でした…
ちらっ
ちらっ
まさか検察官殿は
疑いをかけた相手に
調査をもちかけたり
しませんよね？
しかし…
そうなると
困りましたね
あなた達の
仕業でないなら
誰か雇って調査を
してもらわないと…
おや
ぐっ…
私としても
無関係な人に
無理強いは
しませんっ

私はギルドへ
調査を依頼に
行きますので
もし
気が変わられたら
協力をお願い致します
では！

…だってよ
どう思う
謎のモンスター
というのは
気になるが…
私は 全く
心当たりは
ありませんよ
私もだ
そもそも私と
めぐみんは
ダンジョンに
入ったことすら
ないしな


アクア…
お前も心当たりは…
お前が一番…
もちろん
ないわよっ
いくら何でも
私を疑いすぎ
でしょう！

そ…そうか
悪かった…
そもそもあそこは
私のおかげで
モンスターは
寄りつかないはずよ？
あのリッチーを
浄化した魔法陣は
今も残ってる
んだから！

おい
今なんつった
え？
だから…
あそこには
私が本気で作った
魔法陣が今もその力を
発揮し続けてるって…
あれ？


このバカ
があああああ———っ!!




ぐすっ
私じゃないのに…
私のせいじゃ
ないのに…
お前のせいとか
関係ない
お前の魔法陣が
残ってる事が
問題なんだよ


アレを消しとかないと
また俺達との繋がりを
疑われるだろ！
セナより先に潜って
証拠隠滅しないと
！
サトウ
カズマさん？


ゲっ……！
セナ…さん
お早い
お着きで…
調査に協力して
いただけるんですね
感謝します
あー
いや…
まあ
他の冒険者達も
もうじき
来ますので


見て下さい
あれが謎の
モンスターです


わら
わら
わら
わら


た…確かに謎なモンスターだ
人形?
と…とりあえず近づかなければ害は無いのですが…


何故かしら?私 なんかこの人形見てるとムカムカしてくるんですけど!!
しばいてあげるわ!
あっいけませんっ
ピク
え?
ぽっ


ドゴッ


アクアーーー!!
ご…ご覧の通り あの人形に近づいたり ちょっとでも刺激すると 自爆攻撃を仕掛けてきて
遠距離から一体ずつ 倒していくしか ない状況で…


そ…それは 厄介な…
あ生きてた
もーー 何なのよっ!!
ていうか あのモンスターの 目的って 何なんだ…?
そ…それは わかりませんが…
地上に溢れてきてるなら ダンジョン内にも 相当ひしめいてる だろうな…
どうした ものか…


ってダクネス!?
…うむ
これならいける
問題ないな
カズマ!
私ならこの攻撃に
耐えられる!
私が露払いのために
前に出よう!
後ろからついてこい!
ゴリラか
あいつは


あ…あなた方だけで
潜るんですか?
他の冒険者が来るまで
待ったほうが…
いや…危険に遭うのは
少ないほうがいい
だろうし…
色々と…
う〜ん…
…でしたら
これを持って
いって下さい


これは？
強力な封印の魔法が込められた札です
それを貼りつければどんなに強力な魔法陣でも効果を失うでしょう
おそらくダンジョン内で何者かがこのモンスターを大量に召喚していると思われます
これを召喚の魔法陣に貼りつけて下さい
そうか…なるべくなら何者ってのには出会いたくないけど…


カズマ私はここで待機していればいいんですか？
ああ いつでも爆裂魔法撃てるように準備しててくれ
わ…私もめぐみんと一緒に待ってるから！
もうダンジョンに置いてかれるのイヤだものっ
支援魔法は
お前…


となると潜るのは私とカズマのみか
暗いダンジョンで二人きりだとモンスターより身の危険を感じるな
お前もダンジョンの奥に置き去りにしてもいいんだぞ？





うえ…
相変わらず
不気味な
ダンジョンだ…

一気に
つき進むぞ

遅れずに
ついてこい！


オオオオオオ


早速お出ましか！




ドドドドドドドド
〜〜〜っ！


まだまだ!!
ドドドド


は…ははは っ 当たるっ 当たるぞカズマっ
こいつらは 私の剣でも ちゃんと当たる!!
ドドドドドド


ははははっ
アイツ…初めてマトモに攻撃が当たる相手を前に調子に乗って…
しかし…以前入った時と違ってあの人形しかいないな…
他のモンスターはドコに行ったんだ?


いや…それよりもアクアの魔法陣を何とかしないと
セナには悪いが


ふう…リッチーの部屋とやらはまだか?
確かその角を曲がったトコ…
あ


こねこね


ん？
貴様そこで何しているその人形は…
ほうこれはこれは



我がダンジョンにようこそ勇敢な冒険者よっ
我輩は魔王軍の幹部にして悪魔達を率いる地獄の公爵!
この世の全てを見通す大悪魔バニルである!
なっ
魔王軍の幹部だと!?
下がっていろカズマ!
おっと落ちつけ娘我輩はお前達と争う気はない


……とまぁ 我輩は 魔王の奴に頼まれて この地へある調査と 街に住んでる 働けば働くほど貧乏に なるポンコツ店主に 会いに来ただけなのだよ
それって…
幹部と言っても 城の結界の維持を してるだけの なんちゃって幹部
我輩は直接 人間に危害を 加えたりはしない


なら… その人形達は 何なんだよ？
ん？
ダンジョンから ポコポコ出てきて 街の人が迷惑 してるんだぞ？


我輩はこやつらで ダンジョン内の モンスターを 駆除していたのだが
そうか 外に溢れたなら もうモンスターは おらぬな
…あんた一体 何を企んでるんだ？
まあ落ちつけ そこの娘が数日帰って こなかっただけで自室を 熊の様にウロウロして 心配していた男よ
な!?
我輩は 悪魔として 大きな夢が あるのだ


カズマ…お前…
ちがう!!
我輩は人間のイヤだなと思う悪感情を糧とする悪魔
とびきりの悪感情を食した後華々しく滅び去りたい願望があるのだ

そして考えた!
まずはダンジョンを手に入れる!
そして各部屋に部下の悪魔達や苛烈な罠を仕掛ける
そこに挑むは歴戦の冒険者!

いつかは最奥に辿り着く者が現れよう
待ち受けるのはもちろん我輩
激戦の末打倒された我輩のあとに現れる宝箱
苦難を乗り越えた冒険者はそれを開け…


スカ
…と
呆然とする
冒険者を見ながら
我輩は滅びたい
カズマ
コイツはここで
仕留めておくべき
だと思う


そう言うな
そこの男に風呂場で
裸を見られた際
己の割れた腹筋を
見られてないか
心配する娘よ
なっ
わわ私の
腹筋はそんなに
割れてない！
ていうか
調査だの
店主に会うだのは
どうしたのだ⁉


その店主の所で働き
貯めた金で
巨大なダンジョンを
作る気であったが
丁度
この主の居ない
ダンジョンを
見つけたのでな…
我輩は冴えてる！
もういい
行こう
ダクネス
こいつは
そんなに害は
無い気がする


俺達は
後ろの部屋の
魔法陣に用があるんだ
通してくれよ
ほう
あの魔法陣のせいで
我輩も部屋に入れず
困ってたのだが
何者がこの強力な
魔法陣を張ったか
汝は知ってるようだな
どれ…
ピリッ
うっ

!

フ…
フハハハハハ!!
なんて事はない!
貴様らの仲間の
プリーストがこの迷惑な
モノを作ったのか!


くっ　コイツ
さっきから見てきたかのように…っ！
なるほど…実はベルディアを倒した者を調べる事が調査の目的だったが
それも貴様らだったか
しかしこの大悪魔たる我輩すら拒む魔法陣を作るとは
そのプリーストはよもや…
はっ
決めたぞ！
こんなハタ迷惑なモノを作りおったそやつに一発キツイのを食らわせてくれるわ！
なあに「人間」は殺さぬのが我輩が鉄則安心するがいい
「人間」はな！


貴様
さっきから
何を言って…！
コイツ 今
「人間」って
言ったな
…っ
まさかアクアの
正体を
見破って…？


何の事か分からんが
アクアに危害を
加えに行くなら
引く訳には…！
そこを退け


その男との賭けて負け
「すんごい要求」
とやらが気になり
先ほどから持て余し
モジモジしている娘と
この件が終わったら
その娘にどんな要求を
しようかソワソワ
している男よ
持て余してないし
モジモジも
していないっ
適当な事
言うな！
言うなあああ!!


もっ
もういいっ
貴様と話してると
頭がおかしくなる！

…っ！
ぐあ…

…っ？
え？
やったのか？
と
思わせた所で


フハハハ！
この体は我が魔力で作り出したかりそめの物
いくら砕こうが我輩は滅びぬ！
そして我輩も長々と相手してられんのでな
とっておきの必殺技を見せてくれる！




はっ…
何かヤバイっダクネス逃げろっ！
うわあああ――――!!



ダクネス!?


ダクネス!?
第三十章 この仮面の騎士に隷属を！②


お…おい！どうした何があっ…!?
フ…
フフフ…


フハハハハ！聞くがいい小僧！
この娘の体は我輩が乗っ取った！
なっ何だって!?
この娘はお前にとって大事なパーティーメンバ…！


フハハハハ！
さあどうだ小僧！
この娘に攻撃できるものなら
一向に構わん！
遠慮なくやってくれ!!


は？


さあ！何をしてるカズマっ
何をしてるは貴様だ！
バカな！なんだこの娘は!?
麗しい
ええい 余計な口を挟むな！
一体どんな頑強な精神をしてるのだこやつは…
まるでクルセイダーの鑑のような奴だな！
やかましいわ!!
な…なんて事だわ…我が支配に耐えるとはこの娘…！
いやあ…それほどでも


だ…だが…
我慢は
得策ではない！
我が支配に
耐えるほど
その身に
激痛が…！
なんだと!?


フハハ
どこまで
耐えられるか
見もの…
そ…そんなに
すごい激痛が…
はて…？
これは…
ズキュッ
んっ
く？
我輩にとっては
あまり好ましくない…
喜びの感情が…
私はっ…
こんな痛み
なんかに
負けたりは
しないいっ…！
ちょっと
待て
貴様
ひょっとして
楽しんでは
いまいか？


よしダクネス
魔法陣は
消した！
地上に
戻るぞ！
構わん！
私は置いていけ
一度置き去りに
されてみたい
やかまし
わああ——!!


くっ…
この体は
失敗だった様だ
これ以上
付き合ってられん
貴様から出て行く！
おい！
人の体に失敗だとか
失礼ではないのか！
なんだと!?
出て行く…？
いや…
ちょっと待て
今はあの変態のせいで
うまく体を扱えて
ないみたいだけど
断る!!
ダクネスの体から
出られたら
厄介な事に
なるんじゃ…
ならば


ぺたり


…おい
何だ
この札は…？
っ！
触れん！
指が弾かれる…!?
カ…カズマ
この札は確か…


セナにもらった
封印の札だよ
さぁ行こう
そのまま地上に
戻ってアクアに
浄化してもらおう
ちょっ!?

娘！抵抗するな！
今 体にはとんでもない激痛が走ってるのだぞ！
ハァ ハァ
小僧！この娘の身を案じるなら札を剥がせ！
この娘の心が壊れてしまうぞ!!
う…うあああっ…！


たっ…確かにさっきからすごいのが!!
ああぁっ!!こんな強烈なのは初めてだ…!!


…全然大丈夫そうだが
うぬっ!?
手加減していればつけ上がりおって!


ならば!支配力MAX!!
この娘の体は完全に乗っ取った!!
なっ!?
うあ!?
ギュ――っ!
このまま仲間のプリーストに一発食らわせてくれる!
ハハハ この姿なら相手も油断して…

セイクリッド・エクソシズム――!!

ゴッ

あああああ!?

!

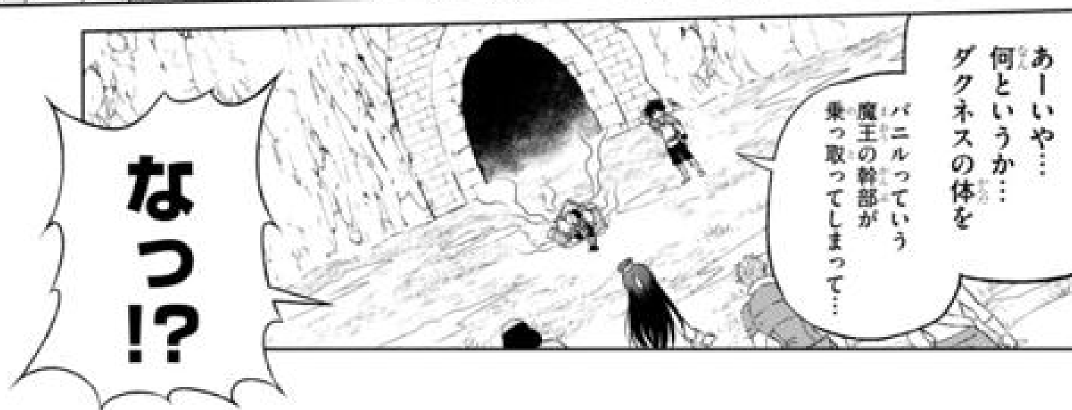
あれ?

ダクネス!?

ゴォオオオ

あちゃちゃー!!


アクア…
いきなり魔法ぶちかますか普通…
助かったけど
邪悪な気配が上がって来たから撃ち込んだだけよ！
それに今の魔法は人間には害が無いし！
いや…それは…
っていうかアレは何なのよ⁉

サトウカズマさん！
これは何の騒ぎですか⁉
何だ
何だ

あーいや…何というか…ダクネスの体をバニルっていう魔王の幹部が乗っ取ってしまって…
なっ⁉


バニル!? 予知と予言の強力な力を持つという あの大悪魔がなぜ…
だ…大丈夫っ もらった札で ダクネスの体に 閉じ込めてあるから
と… 閉じ込めたって… あ…あなたって 人は!


フハハハ いかにも! 我が名はバニル
初めましてだな! 水の女神と同じ名の プリーストよ!
忌々しく悪名高い 貴様にキツイ一撃を 食らわせに来たぞ!


何ですって!?
人の悪感情が無いと 存在できない 寄生虫の分際で! やれるもんなら やってみなさいよ!

セイクリッド・ハイネス・エクソシズム!!

甘いわ!




助太刀するぜ嬢ちゃんよ！
魔王の幹部だか知んねーが元はあのヘッポコクルセイダーだろ!?


俺らはベルディアやデストロイヤーをも退けたんだってめえくらい!!


調子に乗るな小僧ども――っ!!


ヒュッ
ドドドド


くそっ
速えっ!!
嘘だろっ
アレ本当に
ダクネスか!?


フハハハ これでも
随分手加減して
やってるのだぞ!
しかし この体は
随分と具合が
いいな!


さあ 覚悟するがいいわっプリーストよ！
いやあああこっちこないでよ――っ
えんがちょー!!


サ…サトウさん助けないんですかっ二人共あなたの仲間でしょう！
あ…いや俺 冒険者なんて行っても無駄かと…
あなたって人は
でも…困りましたね
クルセイダーのダクネスの体を乗っ取ってるからアクアの浄化魔法が効きにくいようですし


バニルを完全に消滅させるなら札を剥がして一度ダクネスから解放しないと…
そんな…せっかく封印したアイツをまた解放するのかよっ
いやー っ!!
ハハハ またぬか！
それしか方法がありません …しかしどうやったら札を剥がせるのか…




イラ
イラ
イラ
イラ
イラ
イラ
おい
何やってんだ
ダクネスっ
いつまでそんな
ぽっと出の悪魔に
乗っ取られてんだよ!!


お前ってそんなに
チョロイ女
だったのかよ!!


…だ


誰が
チョロイ女だ——っ!!
今まではあえて
支配されてたのだっ
バカにするな——っ!!


何だこんな物っ…
…っ!?

うおおお――――っ

こっこら何をするっ

剥がれた!?
今だダクネス!その仮面も剥がしちまえ――っ!!

な…なんて奴だかってここまで我が支配に耐えた者は居なかったぞ
ハァ
ハァ
だが
貴様の体から離れる訳にはいかんのだ!
ぐっ


何だっ!?
バニルのやつ
抵抗してやがるのか!?
こ…これじゃ
浄化魔法を撃っても
バニルを倒せない!


えっ ちょっと!
ど…どーすんの?
私 魔法撃っても
いいのかしら――
!?


構わん 撃て
…アクアの
魔法が効かないと
言うなら…



めぐみんっ
このまま 私もろとも爆裂魔法を食らわせてやれ!!
何っ!?
ええっ!?
バカ! 何言ってんだお前!
その通りだ 何を言っている
そうですよっ いくら何でも無茶ですっ!!
やってみなければ分からん!
それに私は一度爆裂魔法を食らった事がある
よせ 早まるな
話をしようではないか
カ…カズマ 一体どうしたら…
く…くそっ ダクネス…


くそったれ!!
めぐみん
やれっ!!
俺はダクネスを
信じる!!


よく言った!
それでこそ
カズマだ!!
バカなっ
何なのだ
貴様らは!


バニル…僅かな
一時だったが
共にいた時間は
悪くなかったぞ
だから…選べ
私から離れて浄化されるか
共に爆裂魔法を
食らうかを
…っ!
…我輩は
悪魔である
悪魔が浄化
されるのは
真っ平だ
そうか


わっ
わかりましたっ
くそったれ!!
私もダクネスを
信じます!
万が一の事があっても
俺が全責任とって
やらあああ――っ!!


フハハハハ
我輩の破滅願望が
意外な形で叶ったな!
さらばだ
汝への憑依は
なかなかに
楽しかったぞ!

エクスプロージョン!!




貴殿を表彰し
この街から感謝状を
贈ると同時に
嫌疑を掛けた事に対し
深く謝罪を申し上げ…

加えて
機動要塞
デストロイヤー
討伐における
多大な貢献
及び バニル討伐は
あなた達の活躍なくば
成し得ませんでした
よって…
おぉっ

貴殿の借金を
報奨金から
差し引き
残りの四千万
エリスを進呈し
ここにこの功績を
称えます！
ワ――――
やったぜ！
とうとう借金が
なくなったぞー!!


そして
ダスティネス・フォード・
ララティーナ卿！
えっ　私か？
王室から
感状並びに
キラ
キラ
貴公の献身
素晴らしい活躍は
ダスティネス家の名に
恥じぬ功績であり
先の戦闘で失った
鎧を新調し
ここに贈ります！


よくやった！
ララティーナ！
流石は
ララティーナだっ
こ…こんな
辱めは
私が望む事では…
お前そんな
可愛らしい名前
だったんだな
ララティーナ！
よっ　可愛いよ
ララティーナ！
ララティーナッ！


サトウカズマさん
私は…
あなたの事
誤解していた
ようですね


まあ…まだ少し危なっかしい所もあるようですが…
へいへい
あなた方の今後の更なる活躍を願ってます
本当に行くのか?
ああ
バニルが言ってた店主ってウィズの事だろ
会いにいくって言ってたし成り行きでも討伐してしまった事は報告しないと
うむ…
あいつは人をからかいはするがそこまで悪い奴でもなかった気がするな…
ガチャ


へい いらっしゃい！
あらカズマさん いらっしゃい
聞きましたよ〜〜〜


ぱく ぱく
…っ
…おまっ…!?
ハハハ まさか 我輩が滅んだと とても思ったか？
バニルさんを倒して スパイ疑惑も 晴れたんですって？ よかったですね！


まあ 我輩でも 流石に 爆裂魔法は 耐えれんのでな ホレ
残機が一人 減って今は 二代目バニル様だ
蘇ったバニルさんは 魔王軍の幹部じゃないので とても無害ですよっ
これからもごひいきに〜ｯ
なめんな──っ!!


アニメ二期も絶好調の
このすば、自分も何度も
リピートして楽しませて
もらってます！
今回は推しキャラの
ゆんゆん描けて幸せです。
もっと登場すればいいのですが！
次巻からいよいよ新章に入ります。
コミックも一層
盛り上げていきますので
どうぞよろしく！
それではまた次巻〜
渡真仁
暁なつめ
コミックス五巻発売、おめでとうございます！
漫画もアニメ二期も絶好調！
原作ともどもこのすばをよろしくお願いします！

ドラゴンコミックスエイジ

この素晴らしい世界に祝福を！(5)

原作:暁なつめ
作画:渡真仁
キャラクター原案:三嶋くろね

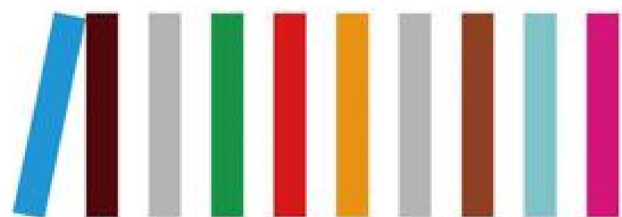
2017年3月9日　発行

本電子書籍は下記にもとづいて制作しました
ドラゴンコミックスエイジ『この素晴らしい世界に祝福を！(5)』
2017年3月9日初版発行

発行者　青柳昌行
発　行　株式会社KADOKAWA

〒102-8177　東京都千代田区富士見2-13-3
電　　話　0570-002-301(カスタマーサポート・ナビダイヤル)
受付時間　9:00～17:00(土日 祝日 年末年始を除く)
編集企画　コミック&キャラクター局
　　　　　ドラゴンエイジ編集部
http://www.kadokawa.co.jp/

カバー・本文デザイン　ムシカゴグラフィクス


BOOK☆WALKER